

民児協だより



— 支えあう 住みよい社会 地域から —



参加者も子どもたちも笑顔いっぱい！

まなざし

湯河原町の「ひとりぐらし高齢者昼食会」は25年前に先輩の民生委員が立ち上げ、社協の支援を得て、現在、宮下・宮上・吉浜の3地区それぞれで運営しています。

12月の宮上地区のイベントでは、保育園児による歌や高齢者とのゲームなど、孫のような園児との触れ合いに、笑顔があふれました。園児より参加者全

員に手作りのクリスマスツリーが手渡されました。

前日から食材の調達や会場準備をすすめ、早朝より調理した豪華なハンバーグやショートケーキを食べながら、楽しいふれあいのひとときがありました。

高齢者が気軽に寄りあう場づくりを更に工夫し、取り組んでいきたいと思ひます。

(湯河原町民生委員児童委員協議会)

●特集① これからも住民の身近な支援者として
～守り続けるもの・変えるもの・伝えるもの～

●特集② 神奈川県の重点的な取り組み (地域福祉課・子ども家庭課)

●特集③ 県民児協事業計画・予算 ●通信員だより (逗子市・清川村・大井町)

特集①

これからも
住民の身近な支援者として
守り続けるもの・変えるもの・伝えるもの

今回は、4名の委員に、これまで委員として大切にしてきたことを伺いました。本年度は県民協50周年。次の50年に向けて、今後の委員活動についてあらためて考える機会にしていきましょう。

○信頼関係の構築を一番に

県民協の会長を務める金子さん。今回のテーマである、「これからも身近な支援者として」大切にするべきことを伺いました。

「大切なのは、昔も今もこれからも信頼関係ですね」と金子さん。住民に街で会えばあいさつをし

てもらえる、困ったことを相談してもらえると、そんな信頼される委員を目指してきました。積極的に足を運んで地域や住民を知り、すぐに行動し、身だしなみや言葉遣いに気を配り、プライバシーを守る。そして、自身が好奇心を持って楽しむ。これら一つひとつの積み上げこそが、信頼関係の構築につながる。優しい笑顔で話されます。

○互いを認め、尊重し、寄り添うこと



金子 直勝さん
(5期目/大和市)

「委員一人ひとり、個性がありスキルも違うけれど、各地域から推薦された大切な存在です。それぞれの良さを活かし、フォローしながら活動できると良いね」。委員の個性や地域性の違いを認め合うことの大切さを語ってくれた金子さん。

互いを認め合い、尊重し、寄り添い合うことこそが、民生委員の本分であることを、教えて頂きました。

○民生委員は気持ちに寄り添う
そして元気をいただく

委員歴30年目を迎える瀬戸昌子さんには、ずばり「民生委員とは何か」を伺いました。

瀬戸さんは、委員を始めた頃は、活動にのめり込み、病院の送迎や葬式の手配までやっていたことがあったそうです。

多くの経験を経て、「民生委員とは、人の話を良く聴くことに尽きる」といいます。相手が望む答えや、本当の気持ちを汲み取ることを大切にしています。

「元気をあげるだけでなく元気をいただく仕事」というお話もありました。相談者のお宅に行き、「こんな風になりたいな」と思える相手の良い所を見つけられることは、何よりも幸せと、笑顔で語られました。



瀬戸 昌子さん
(10期目/小田原市)

○「あたたかい言葉」と尊敬と感謝

地区会長でもある瀬戸さんは、他の委員との関わりも大切にしています。特に意識していることは、「あたたかい言葉」を使うこと。

「定例会を欠席した委員に『なぜ来られなかったの?』という冷たい感じだけど、『忙しいのに活動をしてくれてありがとう』と言えば、お互いに気持ち良く活動できるでしょ?」。忙しい中、委員をしている皆さんへの尊敬と感謝の気持ちを忘れない瀬戸さん。謙虚でありながら心の広さを感じました。

○やってよかったと思えるように

瀬戸さんは、今でも自信はないとのこと。「自信があると上から目線になってしまう。自信がないからやってこられた」といいます。

今年は一斉改選。辞める委員には「やって良かった」と思ってもらいたい。そのためには、今の時代の人が活動しやすいシステムを考えていくことが必要だと語る瀬戸さん。「人が好き」という気持ちを礎に長年活動をされてきた言葉に、重みを感じます。

○「多様性」を認める時代へ

主任児童委員として約12年間活動している檜山さん。子どもや子育て家庭に関わる中で、大切にしてきたことを聞きました。

「子育てにはトレンドがあり、昔は良いと思っていた方法が、今は駄目ということも多い。日々学び、知識を得、スキルを上げることとを考えてきました」と檜山さん。

最近では、「多様性」を認める時代になった、といえます。「職業や生き方、性別など、白か黒でないことも多い。特に子どもの場合は、自分が白なのか、黒なのか、あるいはグレーなのか気付いていない場合も多いし、気付かせることが良いことでもないと思うんです」。

「多様性」は、頭では認められても、感情では認められないこともあります。自分の尺度に当てはめず、考え方を押し付けることのないよう、主任児童委員として律する姿が印象的でした。

○専門的なことは専門家へ 委員は「頑張ってる見守る」

「昨今の子どもへの虐待事件は悲しく思います。何とかしたい、という気持ちはあります。でも、委員として出来ないこともあるし、



檜山 直春さん
(4期目/横須賀市)

専門家に任せることも大切です。委員としては『ただひたすら見守る』こと、そして委員目線で気付いたことは、定例会や会議などできちんと発言することも大切に行っています」と、穏やかに話されました。

○「良い加減」の活動を

「いいかげんに」という就任時の市民協協会長の言葉が、今の檜山さんの原点です。

相談者や委員の仲間、関係機関等との関わり方や連携の仕方も一つではありません。時に深く、時に適度な距離感を大切にしている檜山さん。「良い加減」な活動や関係づくりを常に考えている檜山さんからは、前向きな気持ちと強い想いが伝わってきました。



青木 澄雄さん
(4期目/寒川町)

○会って、顔を見て、話す

民生委員になって4期目。これまで委員として大切にしてきたことを聞きました。

青木さんが委員になって、まず実践したのは、担当の高齢者約200人全員のお宅に、A4版の手作りの名刺を持参して訪問することでした。「相談してもらうには、信頼を得ないといけない。そのためには、まず会って話を聴こうと行動した」。それが、青木さんの誇りです。

介護をしていたお母さんを看取った青木さんは、「高齢者の孤独な気持ちは分かる」といいます。「だから20〜30分は話を聴きます」と、笑いながら話してくれました。

○民生委員はチーム活動

もともとシステムエンジニアとして働いてきた青木さん。当時は、問題があったら一人で解決する必要があったそう。しかし、委員活動は、「チームで問題を解決するのが基本。そこが仕事をしていた時とは違う」と言う青木さんは、みんなの力を借りて委員活動を進めることの必要性を、人一倍語ってくださいました。

○人とのつながりが人生を豊かに

委員になって一番良かったことは、人との出会い。委員や関係者、地域の人々とのつながりは、青木さん自身の人生を豊かにするものだったそうです。県内外の研修にも積極的に参加し、多くの人と出会い、学びを重ねてきました。

そのような中で、青木さんは「身近な定例会もみんなですべて話し合い、発言できる場になると良い」と期待します。無理をせず、支え合い、チームとしてつながって活動していこうという心意気を感じました。それが、委員皆の人生を豊かにしてくれることにつながると、教えていただきました。

(取材:伊藤寧彦、田村正一、宇田川敏枝、大沢みき、金子明、大原すずか、邊見千恵)

活動の振り返りや一斉改選に向けた引き継ぎの準備のために

今年は一斉改選。民生委員・児童委員にとっては節目の年となります。

これを機に、これまでの活動を通じて、「守り続けたい大切にしてきたこと」「変えていきたい課題」「活動を通して多くの人に伝えたいメッセージ」などを考え、話し合ってみてはいかがでしょうか。また、以下の資料一覧を参考に、活動を振り返る機会を持つことも大切です。今後の活動のため、また新任委員への引き継ぎのために、今から少しずつ準備をしていきましょう。

参考1 引き継ぎチェックリスト

| カテゴリー | 資料名 | 発行日 | 発行者 | ホームページ |
|--------------|---|--------|------|--------|
| 個別支援 | ★個別援助票、個別援助票の手引き、保管ファイル | H25.11 | 県民児協 | |
| | ★活動記録(引き継ぐべき事項が記載してある場合) | | 全社協 | |
| | ★依頼書・調査票、調査事務の手引き | H25.11 | 県民児協 | |
| | ★生活福祉資金借受世帯支援記録票(相談者を担当している場合) | 随時 | 県社協 | |
| 活動強化方策 | ★『民生委員制度創設100周年活動強化方策』 | H29.8 | 全民児連 | ○ |
| | ★『民生委員制度創設100周年活動強化方策推進の手引き』 | H30.9 | 全民児連 | ○ |
| | ★『児童委員制度創設70周年 全国児童委員活動強化推進方策2017』 | H29.12 | 全民児連 | ○ |
| | ★『神奈川県民生委員児童委員協議会がめざす活動方針～神奈川県版「民生委員児童委員活動強化方策」』(ダイジェスト版あり) | H29.3 | 県民児協 | 準備中 |
| 個人情報 事故防止 | ☆『個人情報の取り扱いについての基本的な考え方と留意点』 | H18.6 | 全民児連 | ○ |
| | ☆『民生委員・児童委員活動と個人情報～住民の個人情報の適切な取り扱いのために～』 | H18.3 | 全民児連 | ○ |
| | ☆『大丈夫ですか! 個人情報が記載された書類等の取り扱いについて』 | H28.3 | 全民児連 | ○ |
| | ☆事故防止のためのヒント集 | H29.4 | 全民児連 | |
| 災害に備える | ☆『災害に備える民生委員・児童委員活動に関する指針』(概要版あり) | H31.3 | 全民児連 | ○ |
| | ☆『民生委員児童委員による災害時の要援護者支援～災害に強いコミュニティを支える活動～』(ダイジェスト版あり) | H19.11 | 県民児協 | 準備中 |
| 地区会長 向け | ★『単位民児協運営の手引き』【平成28年3月版】 | H28.3 | 全民児連 | ※ |
| | ☆『神奈川県の民生委員児童委員活動 概況(平成30年3月)』(ダイジェスト版あり) | H30.3 | 県民児協 | |

参考2 委員活動に参考になる資料一覧

活動に参考になる資料です。
必要に応じて確認してください。

| カテゴリー | 資料名 | 発行日 | 発行者 | ホームページ |
|----------|---|----------------|------|--------|
| 民生委員を知る | PR動画「あなたのまちの民生委員・児童委員～地域の身近な相談相手～」(6分) | H30.3 | 全民児連 | ○ |
| | PR動画「民生委員・児童委員はあなたの身近な支援者です」(22分) | H30.2 | 県民児協 | ○ |
| | パンフレット「あなたのまちの民生委員・児童委員」 | H28.2 | 全民児連 | ※ |
| | 『民生委員児童委員活動事例Q&A集』 | H29.3 | 県民児協 | |
| | 全民児連広報紙「民生委員・児童委員のひろば」 | 毎月 | 全民児連 | ○ |
| | 県民児協広報紙「県民児協だより」 | 年4回 | 県民児協 | ○ |
| | 『児童委員活動の手引き』(最新版44集) | 毎年 | 全民児連 | ○ |
| | 『主任児童委員活動ハンドブック-2009年版-』 | H21.3 | 全民児連 | ○ |
| 学びを深める | 『子どもの貧困対策と民生委員・児童委員活動』(2017年) | H29.3 | 全民児連 | ○ |
| | 『民生委員・児童委員による子ども・子育て家庭への個別支援事例集』 | H27.3 | 全民児連 | ○ |
| | 『民生委員・児童委員活動による相談支援活動のヒント集』(第1集:高齢者支援、第2集:低所得者支援、第3集:子ども・子育て支援) | H29.1 H30.3 | 全民児連 | ○ |
| | 『民生委員児童委員 必携』(最新版63集)(テーマは年により異なる) | 毎年 | 全社協 | ※ |
| | 『生活困窮者自立支援制度と民生委員・児童委員活動』 | H27.6 | 全民児連 | ○ |
| | 『事例を通して支えあう一仲間と学ぶ事例学習-』(DVD付き) | H31.3 | 全民児連 | |
| 100周年を知る | 『地域とともに 民生委員制度の100年』 | H29.6 | 全民児連 | |
| | 『民生委員制度 創設100周年』 | | 全民児連 | |
| | 『民生委員制度百周年記念 つなぐ』 | H29.10 | 県民児協 | |

【資料名】について:「★」は、引き継ぐことをお勧めする資料です。「☆」は、引き継いで頂いた方がよい資料です。印がないものは、市町村・地区民児協で相談し、必要に応じて引き継ぎをお願いします。多くの資料は発行者のホームページにも掲載されていますので、効果的に活用してください。「※」は、必要部数以上は有償頒布している資料です。詳細は、市町村民児協を通じてお問い合わせください。

参考3

これから発行・送付予定の資料

| 資料名 | 予定 | 発行者 |
|--------------------------------|----------------|------|
| 『活動記録』(12月～3月分の4ヵ月用) | 新任委員分は12月頃送付予定 | 全民児連 |
| 『活動記録 記入の手引き』 | 〃 | 全民児連 |
| 民生委員・児童委員活動保険リーフレット、加入証 | 〃 | 全民児連 |
| 『人権課題への理解を進めるために』 | 〃 | 全民児連 |
| 『新任民生委員・児童委員の活動の手引き』 | 12月頃より有償頒布予定 | 全民児連 |
| 『災害に備える民生委員・児童委員活動ハンドブック』 | 12月以降に改訂版を発行予定 | 全社協 |
| 『県民児協版 児童委員・主任児童委員のためのヒント集』(仮) | 12月頃発行予定 | 県民児協 |

特集②

神奈川県令和元年度重点的な取り組み

民生委員児童委員、主任児童委員に関わる主な行政施策について紹介いただきます。

神奈川県福祉子どもみらい局福祉部地域福祉課

●民生委員制度の広報に力を入れています

今年度は3年に一度の一斉改選の年であり、ひとりでも多くの人に制度を知ってもらうため、3月の県のたよりで民生委員制度の特集記事の掲載を行いました。

また、ゴールデンウィーク庁舎公開ではパネル展示、パンフレット配布及び貴協議会の作成されたPR用DVD上映を行いました。

これからも、地域で民生委員制度の理解が深まるよう、様々な広報に力を入れてまいります。

●「ともに生き支えあう地域社会」をめざす県の取り組み

当課では、ともに生き支えあう社会の実現を目指して地域福祉を推進するとともに、福祉介護人材の参入を促進し、高齢者へ適切な介護サービスを

提供するため、外国人留学生が介護福祉士の資格を取得し、県内で介護業務に就労するための支援や、介護分野での就労未経験者を対象に、初任者研修受講から介護サービス事業所等への就労までの一貫した支援等を実施します。

また、タクシー事業者等が福祉タクシー車両を導入する際の補助や、障がい者等の権利擁護を推進するための成年後見制度の相談や法人後見の支援などの施策も引き続き行ってまいります。

民生委員・児童委員の皆様におかれましては、これら県の施策にご理解とご協力を賜りますよう、これからもお力添えのほど、よろしくお願いたします。



神奈川県福祉子どもみらい局子どもみらい部子ども家庭課

5月に元号が令和に変わり、新たな時代を迎えました。しかし、連日のように児童虐待に関する報道が目や耳に飛び込んできます。虐待相談件数の増加や近年の児童虐待による死亡事案を受け、平成31年3月19日児童虐待防止対策に関する関係閣僚会議において「児童虐待防止対策の抜本的強化について」が決定されました。

その中には、体罰によらない子育てを推進するため、体罰や暴力が子どもに及ぼす影響や体罰に



よらない子育ての理解が社会で広まるよう普及啓発活動を行うことや、社会的養育の充実・強化としての里親の開拓及び里親養育への支援の拡充などが盛り込まれています。

里親養育の推進には、まずは地域で活動している里親さんや里親さんの家庭で生活している子どもがいるということを知っていただくことが重要と考えています。

県では、今年度、「家庭的養護推進計画」を全面改定し、県における社会的養育の体制整備の基本的な考え方や全体像を示す「社会的養育推進計画（仮称）」を策定し、子どもの健やかな成長を支援する取組みを進めていきたいと考えております。

民生委員・児童委員の皆様には、日頃の活動を通して、身近な相談相手として、地域の中で顔の見える関係を築いていただいていると認識しています。

今後とも、地域の身近な支援者として、また支援が必要な子どもや家庭を発見し、支援に繋げていただくための架け橋として、社会的な養育の一役を担っていただけますようお願いいたします。

特集③

令和元年度 県民児協 事業計画・予算

3月29日(金)開催の平成30年度第2回総会において、令和元年度事業計画及び予算が承認されました。重点目標および主な事業についてご報告します。

4つの重点目標

1. 個別支援活動の基本となる幅広い知識の習得

民生委員・児童委員の基本は個別支援活動と言えます。一斉改選で新たな仲間が加わる中、一人ひとりの人生経験も活かしなが、住民の価値観や尊厳を大切に、また、暮らしぶりの変化等を受け入れ関わり合えるように、幅広い知識を取得し、活動に反映します。

2. 子どもや子育て世帯を地域で支えるための活動の推進

私たち民生委員は児童委員です。子どもや子育て世帯にとって身近な頼れる存在の一人となるために、わたしたち全員が児童委員としての自覚を持ち、あらためて民生委員・児童委員と主任児童委員がともに手を携え活動に取り組みます。

3. 民生委員児童委員活動を支える基盤づくりの強化

県民児協と市町村民児協は、さらに連携を深め、民生委員・児童委員が安心して活動に取り組めるよう進めます。ブロック活動をはじめ、市町村民児協同士の交流を図り、各民児協活動に反映します。民生委員・児童委員の役割や活動を住民、関係機関・団体等に向けて積極的に周知します。

4. 神奈川県民児協設立50周年に向けた取り組み

令和元年度に県民児協設立50周年を迎えることを節目とし、次の50年に向け、あらためて民生委員・児童委員の役割と活動内容を振り返ります。

事業内容

◎会務の運営

本会事業の企画・運営(正副会長会議、常任理事会、理事会、監事会)。事業計画・予算や事業報告・決算などの審議・議決(総会)。

◎企画調整機能の強化

総合企画委員会等で「県民児協活動強化方策」の評価等を行う。広報委員会と機関紙の企画・編集、通信員連絡会を行う。

◎市町村民児協事務局との連絡調整

市町村民児協事務担当者会議の実施や情報支援を通じた連携。

◎関係機関・団体との連絡調整

児童相談所所長との連絡調整会議、県担当課との懇談会の開催。

◎互助共励事業の実施

会員の傷病時の見舞金や委員本人・配偶者死亡時の弔慰金給付、退任記念品の贈呈。

◎県民児協50周年の取り組み

記念シンポジウム開催、県民児協だよりやキャラクターを活用したPRを行う。

◎補助・助成事業の実施

地域福祉活動促進費助成、地域の福祉課題に取り組む活動への助成(活動推進事業助成金)。ブロック別活動助成、指定地区民児協へ

の事業費助成、活動保険掛金助成。
◎児童委員活動の強化(基盤づくり)
児童委員・主任児童委員連絡会議や活動推進会議を活用し、児童委員と主任児童委員の役割の認識を深める。「県民児協版児童委員・主任児童委員活動の手引き」発行。

◎研修事業の実施

〈本会主催研修事業の実施〉
①市町村会長研修会②地区会長研修会③課題別集中講座④研修体系の整理。

〈県・横須賀市主催事業への協力〉

①新任民生委員児童委員研修会②民生委員リーダー研修③民生委員テーマ別研修への協力。

◎情報提供の強化

「県民児協だより」の発行。キャラクターを活用した広報の強化。本会ホームページの充実。

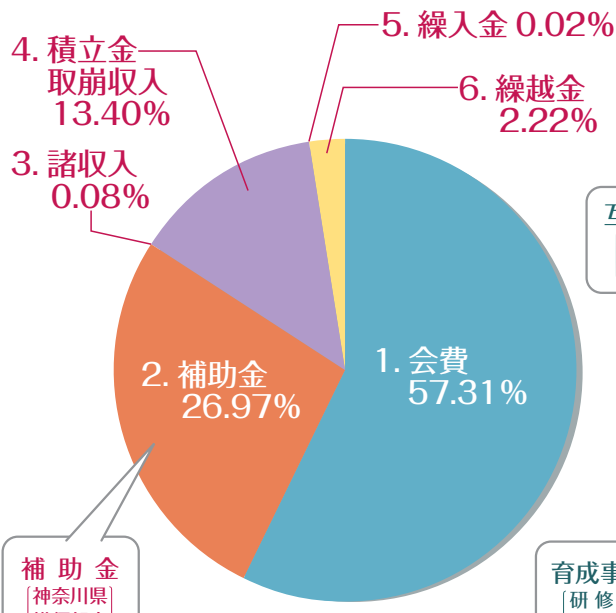
◎全国・関東ブロック会議等への参加

①全国民生委員児童委員大会②関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会③全国主任児童委員研修会④民生委員児童委員のための相談技法研修会⑤民生委員・児童委員リーダー研修会⑥全国児童委員研究協議会⑦全国民生委員指導者研修会

◎関係機関・団体との連携・協働

県主催の会議への参加協力等。

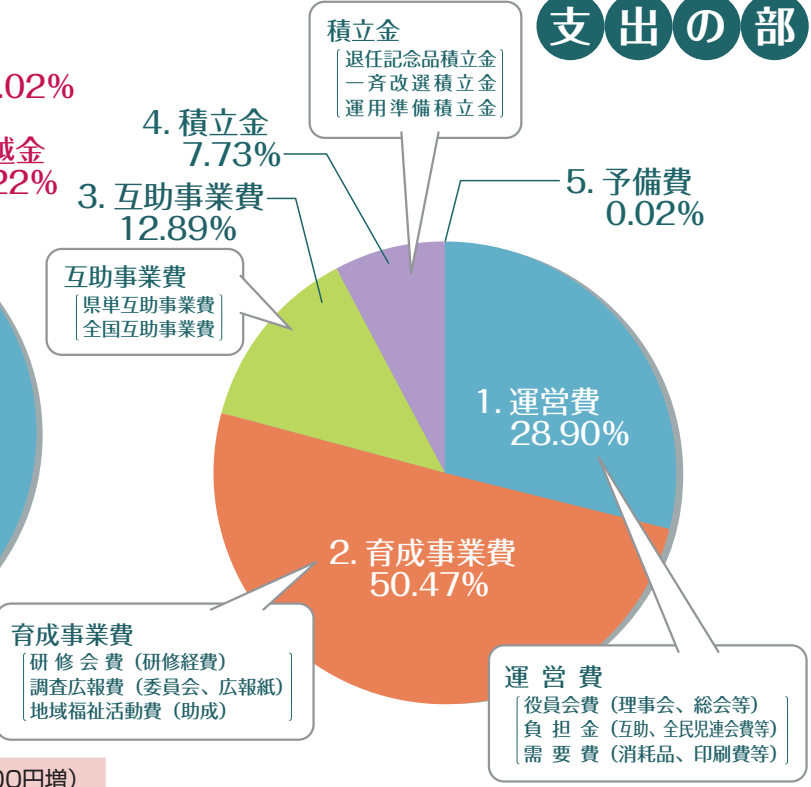
収入の部



補助金
神奈川県
横須賀市
全国互助

| | |
|-----------|--------------------------------|
| 1 会費 | 29,367,000円 (対前年度比514,000円増) |
| 2 補助金 | 13,821,000円 (対前年度比3,987,000円増) |
| 3 諸収入 | 40,000円 (増減なし) |
| 4 積立金取崩収入 | 6,867,000円 (対前年度比6,867,000円増) |
| 5 繰入金 | 10,000円 (増減なし) |
| 6 繰越金 | 1,139,000円 (対前年度比1,611,000円減) |

支出の部



互助事業費
県単互助事業費
全国互助事業費

育成事業費
研修会費 (研修経費)
調査広報費 (委員会、広報紙)
地域福祉活動費 (助成)

運営費
役員会費 (理事会、総会等)
負担金 (互助、全民児連会費等)
需要費 (消耗品、印刷費等)

| | |
|---------|--------------------------------|
| 1 運営費 | 14,808,000円 (対前年度比293,000円増) |
| 2 育成事業費 | 25,864,000円 (対前年度比2,216,000円増) |
| 3 互助事業費 | 6,603,000円 (対前年度比3,434,000円増) |
| 4 積立金 | 3,959,000円 (対前年度比3,814,000円増) |
| 5 予備費 | 10,000円 (増減なし) |

写真で見る 平成30年度の事業



県民児協
キャラクター
誕生

民生委員・児童委員の紹介

民生委員・児童委員の役割

民生委員・児童委員の活動

民生委員・児童委員の支援

民生委員・児童委員の育成

民生委員・児童委員の連携

民生委員・児童委員の協力

民生委員・児童委員の貢献

民生委員・児童委員の未来

民生委員・児童委員の希望

民生委員・児童委員の夢

民生委員・児童委員の理想

民生委員・児童委員の未来

民生委員・児童委員の希望

民生委員・児童委員の夢

民生委員・児童委員の理想

▲自治会等向けPRパンフレットを刷新



▲地区会長研修で「笑いヨガ」を体験



▲市町村会長研修でPR戦略について話し合い



▲課題別集中講座で「強み探し」



▲児童委員活動基盤づくり委員会を開催

平成30年度に発生した災害にご支援を賜り誠にありがとうございました

平成30年7月豪雨災害および北海道胆振東部地震において、県内委員の皆さまより、心からのご支援を賜り、誠にありがとうございました。被災地では、委員自身も被災し、死傷された方もいたなかで、可能な限り見守りや安否確認にご尽力されたとのこと。また、皆さまからお預かりした支援金は、被災者支援活動に役立てられたと、各民児協からお礼状を頂きましたことをご報告いたします。

ご
支
援
の
内
容

- 平成30年7月豪雨 2,526,000円
岡山県民児協、広島県民児協、愛媛県民児協にお送りしました。
- 北海道胆振東部地震 1,416,000円
北海道民児連を通じ、厚真町民児協、安平町民児協、むかわ町民児協へお送りしました。

通信員だより

逗子市

孤独にならない子育ての場 子育て支援センター

通信員 小林 明美

逗子市に子育て支援センターができて16年になります。ファミリーサポートセンターも同じ建物の中にあり、相乗効果があります。

日曜祝日を除く10時から、毎日50人程度の母子が来て、皆で遊んだり、食事をしたりしながら、子育ての悩みを話し合っています。

月に一度「お父さんの日」もあり、子育てをする父親が集まる試みもしています。

市の図書館の協力で、図書も充実しています。講演会や子ども服のリサイクルも定期的に行っており、好評を得ています。

産休まで仕事をし、実家も遠いと、子育ては孤独になりやすいものです。いつ行っても必ず子育てのプロの職員がいる場があるのは心強い事です。子どもへの虐待が社会問題になっている今こそ、集い、相談できる場は大きな意味を持っています。民生委員として、頼りになるつなぎ先で、地域全体で大切にしていきたい場所です。

子育ての主体は両親ですが、昔、地域の中で子どもが育つたように、今はここがその代わりになる。子育ては人生の中でほんの一時。楽しい子育ての場になりますように。



ちょっと心細かったけど、ここに来て友達ができました!

清川村

しっかりと備蓄! 防災意識の高まり

通信員 橋爪 公子

防災に関心が高まっている昨今、清川村民児協では昨年9月「家庭内家具の転倒対策実態調査」を実施しました。調査の概要は「寝室や居間の家具に工夫や固定がしてありますか?」「避難通路は確保されていますか?」等で、担当地域の高齢者世帯を訪問し、アンケートに答えていただきました。集計結果は調査世帯のうち緊急対応が必要な世帯は全体の6.5%(約10件)でした。

訪問の際には「これで大丈夫でしょうか?」と心配そうに家の中を見せて下さる方もおられました。安否確認方法や備蓄(ローリングストック)の仕方をお伝えするなど、防災について共に考える良い機会になりました。中には玄関内に防災用品の保管庫があり、しっかりと備蓄されている方もおられて意識の高さを感じました。



しっかりと備蓄! 棚のなかにびっしり!

また11月の視察研修「そなエリア東京」(防災体験学習施設)では、端末を使つての体験ツアーに参加しました。特に真暗闇の体験は想像を超えるもので災害の恐さを実感させられました。今後備える心を忘れずに、地域の皆さんと共に防災に取り組んでいきたいと思ひます。

大井町

ステップアップ研修会

通信員 香川 五月

大井町民児協定例会では、民生委員児童委員として自分達がステップアップすることで、パイプ役としての役割がより太くなるように研修で学び、またグループワークで視点の違う考え方を知ることが大切になっています。

昨年11月の定例会では「成年後見制度・遺言・死後事務」について司法書士のお話を聞き「人生の最終章に必要なことは、元気なうちに自分の希望をエンディングノートにまとめること」が自分にとってもご家族にとっても大切だと知りました。その際に「エンディングノートは実際にどのようなものなのか?」という疑問が出ました。

今年3月の定例会ではその「終活(エンディングノート)」について、大井町の社会福祉士から実際の終活ノートを見ながら話を聞き、より具体的な内容を知ることができました。身寄りのないひとり暮らしの方も増える中、自分史にもなり、希望を伝えられるこの「エンディングノート」の必要性を感じました。

疑問に思つたことはそのままにせず解決し、これからひとつひとつ大井町民児協全員でステップアップしていきたいと思ひます。



エンディングノート～あなたの希望は?